

令和5年西条市二十歳の集い

総合文化会館

二十歳の主張

千田 佳輝

本日は、大切な友人と共に故郷である西条市で二十歳の集いを迎える事ができ大変嬉しく思います。また、私達のためにこのような盛大な式典を開催していただきありがとうございます。

私がこの日を迎えるにあたって大切にしていきたいと思っている事が2つあります。

1つ目は感謝の気持ちを伝えると言う事です。私がこの日を迎えるまでに家族、友人、先生方、地域の方、沢山の人の支えていただきました。小・中学生の頃は登下校を見守って下さり、高校では部活がある度、球場に足を運び『頑張れよ』と声をかけていただいた地域の方々、今思うと本当に沢山の人の支えられていたと感じます。その方々に感謝の気持ちを伝えると共に、次は自分が誰かを支える立場になりたいと思います。

2つ目は挑戦心を忘れないという事です。私は現在、西条市の企業で働いていますが、今後は父が経営するお店と一緒に働きたいと思っています。その為にはもっと勉強し、沢山の経験をする事が必要です。多くの人は自分がしたい事があっても妥協したり、諦めてしまうことがあると思います。しかし、行動に移して挑戦しないと叶う夢も叶いません。だからこそ、私は挑戦し、失敗しても挫けず強い社会人になります。そして仕事を通して支えてくださった地域の方に少しでも恩返しができるよう日々努力していきます。

以上で二十歳の主張を終わります。

本日はこのような貴重な発表の機会を頂き誠にありがとうございました。